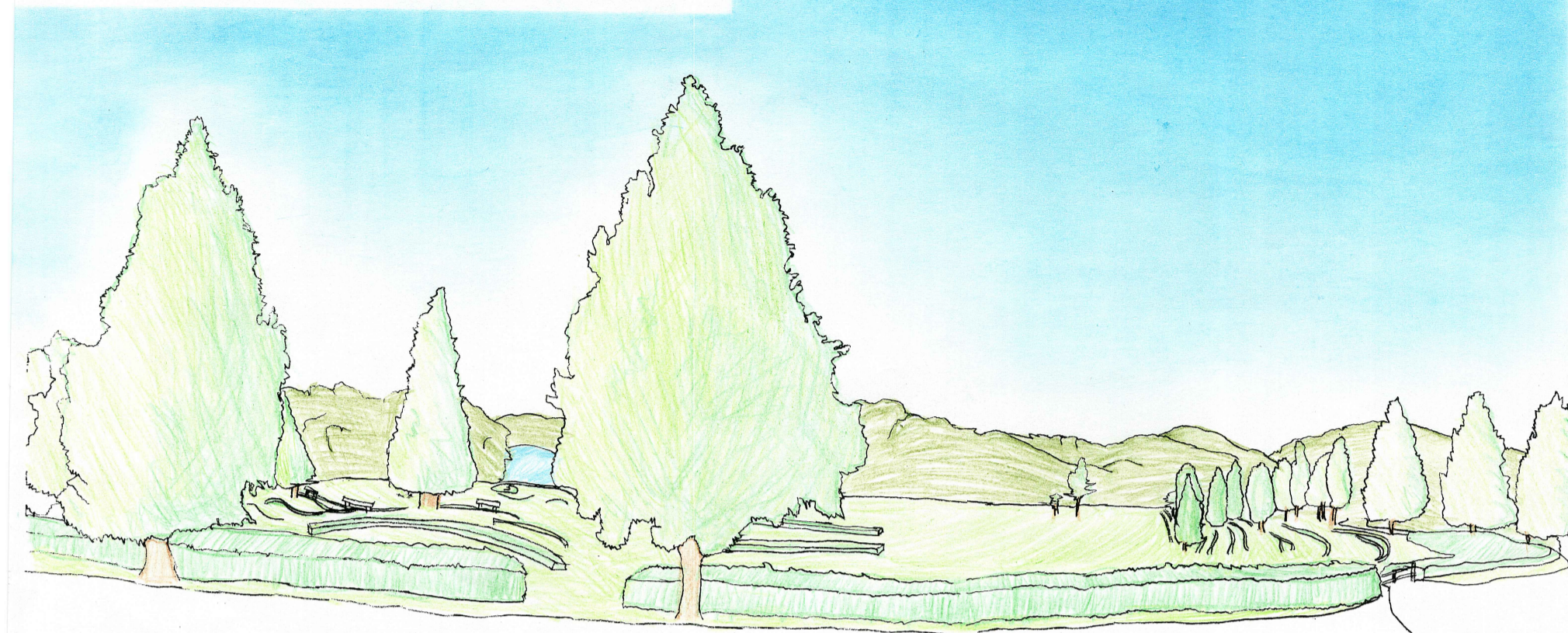


1202



○コンセプト

自然(池)と人工物(遊具)の「あいだ」を繋ぐもの。
公園の遊具と池のあいだを繋ぐものとして、大芝生広場に建築よりも原始的なものを計画し、大芝生広場のアップデートします。
そのために第23回全国育樹祭の際に作成された既存のステージの土を取り、その土を活かし1,202mのベンチ(畝)を作り、その上に100㎡の軽やかな屋根を架けます。

○それぞれのかたち

この大芝生広場ではなだらかな丘陵の高低差を利用した使い方がありました。
それは広場の中央で遊び回る子供たちとその周囲を囲むようにレジャーシートを広げている家族の姿でした。
そのレジャーシートを広げる際、居座る場所を選びます。その時に居場所を固定するようなものではこの広場の良さは活かされないと、以前からある「居座る場所を選ぶ」という行為を残しました。
快適さには個別解があり、柔軟性をもたせるために建物らしいものとはせず、居心地の発見を促し、利用者が心地いい快適と感じられるような空間を目指します。

○休憩所の考え方

なにも機能的なものはないですが、このように利用者が憩う場所は、結果的に休憩所と呼べるものになると思います。

○プロセス

- ①全国育樹祭のステージの土を取る
- ②1,202mの畝を作り、土を固める
- ③100㎡分の屋根を架ける
- ④養生期間を置き、芝生が生える
- ⑤利用者が座る

○ステージの土量計算式

(ステージ外周面積-ステージ内周面積) × 50cm × 1/2 = 法面の土量
(544.642㎡ - 417.155㎡) × 0.5m × 1/2
= 127.487㎡ × 0.5m × 1/2 = 31.87175㎡

○直方体(ベンチ)の土量計算式

40cm × 50cm × 100cm
= 0.2㎡ (1mあたり)

○直方体(ベンチ)の長さ計算式

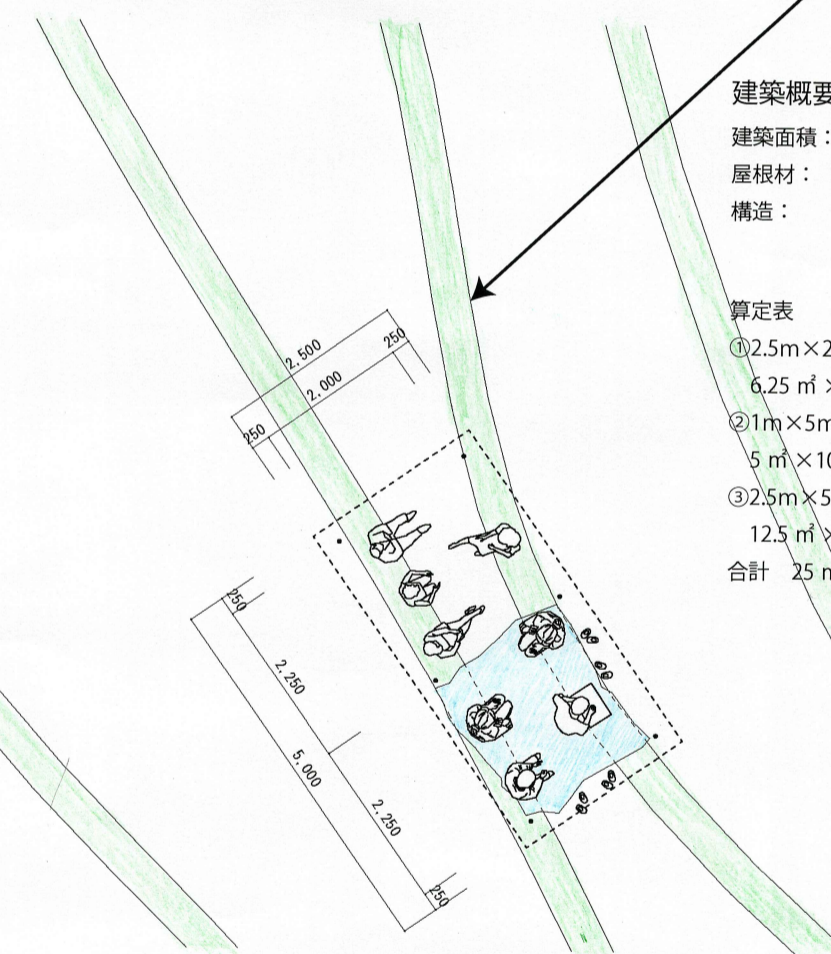
(ステージ内周面積 × 0.5m) + 法面の土量 ÷ 正味のステージの土量
(417.155㎡ × 0.5m) + 31.87175㎡
= 240.44925㎡

240.44925㎡ ÷ 0.2㎡
= 1,202.24625m



タイプ①タイプ② 平面図 S=1/100

配置図 S=1/1500



タイプ③ 平面図 S=1/100

建築概要

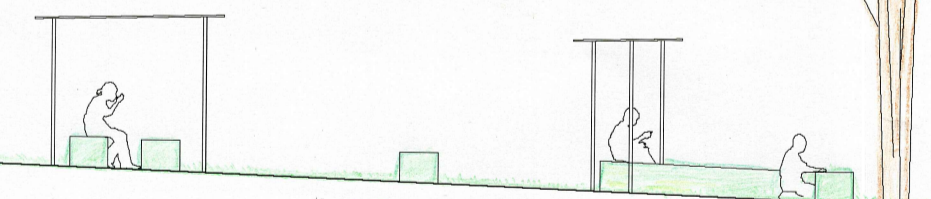
建築面積: 100㎡
屋根材: 鉄板 厚さ 20mm
構造: 鉄骨造

算定表

- ① 2.5m × 2.5m = 6.25㎡
6.25㎡ × 4 = 25㎡
- ② 1m × 5m = 5㎡
5㎡ × 10 = 50㎡
- ③ 2.5m × 5m = 12.5㎡
12.5㎡ × 2 = 25㎡
- 合計 25㎡ + 50㎡ + 25㎡ = 100㎡



タイプ①タイプ② 断面図 S=1/100



立面図 S=1/100

立面図 S=1/100

